



音羽中学校
学校だより

OTOSEMI 音羽翠

令和7年7月2日（水）
第18号



キュパティーノ使節団との交流

6月30日（月）と7月1日（火）に16名のキュパティーノ市の中学生と3名の引率の先生方が本校を訪問しました。

6月30日は、全校で歓迎会を行いました。生徒会役員の英語での進行やスピーチは素晴らしいものでした。吹奏楽部からは、歓迎の演奏が贈られました。心にしみ入る演奏でした。生徒会企画のクイズで日本や音羽中のことを知ってもらうこともできました。歓迎会では、使節団からも、かっこいいダンスの披露がありました。また、みごとな日本語によるスピーチが述べられました。



校内見学をしたあと、ホスト学級に入り、日本の授業の体験をしました。16名全員に入ってもらい、英語の授業をした学級もあります。午後は、和紙のポストカード作りに挑戦し、日本の文化にふれました。青紅葉入りのポストカードは素敵なお土産になったことでしょう。

7月1日も、各学級で一緒に学習しました。その後、音楽室で箏の演奏に挑戦しました。2時間で「さくらさくら」を箏で演奏できるようになり、キュパティーノ市の生徒たちの一生懸命さに感動しました。箏の演奏を通して日本の「サイレント」の意味を体感することができました。

午後はホスト学級で生徒と一緒に授業に参加した後、最後は各学級でお別れ会をしました。一緒に折り鶴を折ったり、ダンスを見てもらったり、校歌を聞いてもらったりして、各学級で思い思いにお別れの時間を過ごしました。



2日間の滞在中には、授業や体験学習だけではなく、一緒に給食を食べたり、掃除や部活動の体験をしたりしました。2日間でしたが、日本の学校生活を知ってもらうことができ、生徒同士の温かい交流ができました。温かく迎え入れた音中生の「おもてなし」の気持ちは、海を越えて伝わっていくことでしょう。これからも豊川市とキュパティーノ市との交流が、深く長く続いていくことを願っています。Thank you so much.